

はじめに

「共創郷育：やまと再構築プロジェクト」は、奈良女子大学が基幹校となり、奈良工業高等専門学校と奈良県立大学を参加校として平成 27 年 12 月にスタートしました。教育支援活動と就職支援活動を二本の柱とし、奈良経済同友会をはじめ県内企業ならびに奈良県と連携する体制を整え、地域とのつながりを強くした教育プログラムを通じて多様な地域人材を輩出し、一人でも多くの学生が奈良県に就職することを目指しています。

今年度、学生が「奈良に関心を持つ」ための教育プログラムの整備はさらに充実、進展しました。3 校間で地域志向科目の受講を可能にするための単位互換協定を結び、また、「過疎の現実を知る」ためのフィールドワーク型・PBL 型授業学習拠点となるサテライト施設を、野迫川村・下市町に続いて十津川村に開設しました。また、後期には「なら学+（プラス）」を新規開講しました。この授業科目は、昨年度キャリア教育科目として開講した「キャリアデザイン・ゼミナール：日本一の奈良を知る」を教養教育科目に格上げした科目で、COC + 事業にちなんで「なら学+（プラス）」と名付けました。観光産業、靴下・林業・製菓といった伝統産業、女性の働き方、地域づくり、モノづくりの技術といったテーマに沿って、県内企業並びに自治体からのゲストスピーカーからご講義いただき、参加校教員も講義を担当しました。

就職支援活動については、学生の県内就職意識をより一層高めるため、インターンシップへの参加促進や、企業セミナー、県内企業に勤務する卒業生との交流会などの企画を各校が工夫をこらして行い、3 校合同の就職支援活動にも新規に着手しました。8 月のならやま研究パークで実施した「会社見学会」、10 月に本学体育館で開催した「女子大学生ワーク & ライフ EXPO」（県女性活躍推進課主催事業）、2 月の「バスで行く県内企業見学会」には 3 校から学生が参加しました。

本事業における就職支援の全体目標値は、学生の地元就職率を事業スタート時点から 10%アップすることです。事業最終年度となる平成 31 年度に 3 校合計で 94 名となることを目指しています。奈良県が恒常的に抱える雇用問題をふまえつつ、「地元就職率向上によって若年層人口を奈良県に留める」ためには、決定打となる方策を模索し続ける一方で、こつこつとヒットやバントを積み上げてゆくしかないと考えております。

上述しました 2 月のバスツアーは、南都銀行様、奈良経済同友会様ならびに奈良経済同友会会員企業様のご協力を得て実現したものです。また、3 月に開催しましたシンポジウムには、お忙しい中、たくさんの方々にお集まりいただき、奈良県の将来像や今後の事業展開について幅広い意見交換を行うことができました。

私たちは、県内企業や自治体との連携をさらに強くして、地域創生、特に、若者にとって魅力ある職場の創生に大学として貢献してまいります。

引き続き、本事業へのご理解とご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

奈良女子大学やまと共創郷育センター長 成瀬 九美

目 次

はじめに

1. COC+参画機関の取り組み及び実績報告

1. 1 3校全体の取り組みについて

- 1. 1. 1 「やまと再構築プロジェクト」の概要および各校の役割 …… 4
- 1. 1. 2 やまと共創郷育センターCOC+評価委員会（平成28年度評価）… 6
- 1. 1. 3 事業の進捗状況 …… 8
- 1. 1. 4 COC+3校合同の活動実績 …… 10

1. 2 奈良女子大学編

- 1. 2. 1 教育（地方創生を担う人材育成）について …… 22
- 1. 2. 2 就職（企業との関わり）について …… 48
- 1. 2. 3 成果の社会的還元（地域貢献）について …… 59
- 1. 2. 4 今後の取り組みについて …… 65

1. 3 奈良工業高等専門学校編

- 1. 3. 1 教育（地方創生を担う人材育成）について …… 68
- 1. 3. 2 就職（企業との関わり）について …… 98
- 1. 3. 3 成果の社会的還元（地域貢献）について …… 104
- 1. 3. 4 今後の取り組みについて …… 132

1. 4 奈良県立大学編

- 1. 4. 1 教育（地方創生を担う人材育成）について …… 136
- 1. 4. 2 就職（企業との関わり）について …… 156
- 1. 4. 3 成果の社会的還元（地域貢献）について …… 170
- 1. 4. 4 今後の取り組みについて …… 171

2. COC+参加協働機関から見た本事業の取り組みに対する評価

- 奈良女子大学編 …… 176
- 奈良工業高等専門学校編 …… 186